

2015 年度
(平成 27 年度)

理事会資料
(議決版)

海洋気象学会

2015 年度(平成 27 年度) 理事会

日時・場所 : 書面開催

資 料 内 容

2015 年度 役員名簿

報 告

- 1 2014 年度 事業報告
- 2 2014 年度 決算報告
- 3 2014 年度 監査報告

議 題

- 1 2015 年度の運営
- 2 2016 年度以降の運営

2015 年度役員名簿

(敬称略、50音順)

会長	石田 廣史	大島商船高等専門学校
理事長	北村 佳照	気象衛星センター

A会員役員

北海道・東北地区理事(定数3名 (欠員1名))

磯田 豊	北海道大学	花輪 公雄	東北大学
------	-------	-------	------

-

関東・中部地区理事(定数7名 (欠員1名))

加納 裕二	元気象庁	北村 佳照	気象衛星センター
-------	------	-------	----------

轡田 邦夫	東海大学	佐伯 理郎	元気象庁
-------	------	-------	------

廣田 道夫	元気象庁	松山 優治	電気通信大
-------	------	-------	-------

-

近畿・中国・四国地区理事(定数11名 (欠員2名))

角野 康二	大阪管区气象台	香西 克俊	神戸大学
-------	---------	-------	------

櫻井 敬三	気象庁日本海海洋気象センター	中田 隆一	元気象庁
-------	----------------	-------	------

永井 千春	大阪管区气象台	馬場 雅一	神戸地方气象台
-------	---------	-------	---------

藤原 建紀	いであ株式会社	眞鍋 武彦	元兵庫県立水産試験場
-------	---------	-------	------------

山下 栄次	元岡山理科大学	-	-
-------	---------	---	---

-

九州・沖縄地区理事(定数2名)

岡田 良平	福岡管区气象台	永井 直樹	沖縄气象台
-------	---------	-------	-------

監事(定数1名)

林 美鶴	神戸大学
------	------

B会員役員

理事(定数8名)

赤岡 隆夫	神戸海難防止研究会	今西 邦彦	日本船長協会
-------	-----------	-------	--------

國友 雄二	(株)商船三井	堤 義晴	日本郵船(株)
-------	---------	------	---------

菱田 憲次	海上保安協会 神戸地方本部	堀 眞琴	大阪湾水先区水先人会
-------	---------------	------	------------

松島 豊	川崎汽船(株)	森岡 衛	内海水先区水先人会
------	---------	------	-----------

監事(定数1名)

坂田 一記	太洋日本汽船(株)
-------	-----------

海洋気象学会細則 6 . にもとづく実行委員会

編集委員(委員長)

加納 裕二 ¹	元気象庁
--------------------	------

¹ 「海と空」担当

佐伯 理郎 ²	元気象庁
--------------------	------

² 「海の気象」担当

学会事務局(部外業務委託)

(有)あゆみコーポレーション (代表:金子 君子)

A会員役員 九州・沖縄地区 岡田理事のみ新任

報告

- 1 2014年度 事業報告

1. 諸会議の開催

理事会	2014年 6月 20日	勤労会館（神戸市）
総会	2014年 6月 20日	〃
臨時理事会	2014年 11月 20日	神戸市教育会館（神戸市）
臨時総会	2014年 11月 20日	〃
編集委員会（「海と空」）	2014年 7月 1日	書面開催
〃	2014年 10月 14日	〃
〃	2015年 1月 19日	〃
編集委員会（「海の気象」）	2014年 4月 9日	書面開催
〃	2014年 7月 30日	〃

なお、定期総会・臨時総会の審議を経て、今後の学会活動について、

- ・2015年度末をもって解散することとし、2016～2017年度を整理期間とする。ただし、2015年度以降の運営については、2014年度末の繰越金で賄える最低限の規模とする。
 - ・役員の内任期を3年に延長し、現行役員において2015年度末の終了までの運営を行う。また、2016年度以降の整理業務については、理事長が長の組織を作り、これにあたる。
 - ・解散にあたり、説明及び周知を行うとともに、これまでの学会活動の経緯をまとめる。
 - ・業務委託等の経費を切り詰め、2016～2017年度の運営必要経費を十分確保する。
- との、方針と具体的な計画が決定された。

2. 諸行事の概要

(1) シンポジウム

ア 北海道・東北地区シンポジウム（大槌シンポジウム） （東京大学大気海洋研究所と共催）

日 時：2014年 8月26日(火)、27日(水)

場 所：大槌町中央公民館（岩手県大槌町）

テーマ：北太平洋を中心とする循環と水塊過程

講演数：20題

イ 九州・沖縄地区合同シンポジウム

（日本海洋学会西南支部・水産海洋学会と共催）

日 時：2014年12月5日(金)

場 所：琉球大学千原キャンパス（沖縄県西原町）

テーマ：東シナ海及びその周辺海域の

リモートセンシングによる気象・海洋観測

講演数：11題（基調講演含む）

(2) 例会

ア 第1回例会

日 時：2014年 6月20日(金)

場 所：センタープラザ西館会議室（神戸市）

講演数：4題

イ 第2回例会（日本気象学会関西支部、大阪管区気象台近畿地区気象研究会と
合同開催）

日 時：2014年12月17日(水)

場 所：大阪合同庁舎第四号館共用会議室（大阪市）

講演数：11題（海洋気象学会から3題）

(3) 船舶気象懇談会

第57回船舶気象懇談会（一般社団法人日本船長協会と共催）

日 時：2015年 1月30日（金）

場 所：日本郵船ビル 多目的ルーム（神戸市）

講演数：3題

講演「日本海運の安全を支える思想、歴史 船員の視点から」

一般社団法人日本船長協会 会長 小島 茂

講演「海上の気象情報等の改善について」

大阪管区気象台 予報課長 杉本 悟史

講演「新しい『ひまわり』について」

気象衛星センター 所長 北村 佳照

3. 機関誌の発行状況

機関誌名	巻 号 数	発 行 年 月 日	頁 数		
海と空	第90巻 第 1号	2014年 8月31日	34頁		
〃	第90巻 第 2号	2014年12月31日	28頁		
〃	第90巻 第 3号	2015年 3月27日	48頁	合計	110頁
海の気象	第60巻 第 1号	2014年10月10日	39頁		
〃	第60巻 第 2号	2015年 1月30日	28頁		
〃	第60巻 第 3号	2015年 3月24日	32頁	合計	99頁

4. 機関誌等の電子化とホームページ等での公開

(1) 「海と空」

「海と空」の学会ホームページでの公開について、既存の公開分に加えて、第89巻(2013年度)1、2号の電子化ファイルを掲示、公開した。

一般公開に関しては、個人情報に関わる非公開力所の指定を行い、国会図書館保有分の電子化ファイル（第75巻まで）が、国立国会図書館デジタルコレクションにおいて公開された（国会図書館においてのこれ以上のデジタル化作業は行われない）。

なお、第89巻3号及び第90巻1～3号を学会ホームページで公開し、国会図書館による「インターネット資料収集保存事業」を許諾することで、第76巻以降もホームページ掲載の形で取り込まれ、全ての電子化ファイルが国会図書館に揃い、公開されることとなる。

（２）「海の気象」

「海の気象」についても、知的財産の保持の観点から、国立国会図書館保有の電子化ファイルの一般公開を念頭に、著作権の学会への移譲等を検討したが、承諾を得ていない引用等がなされた記事等の掲載も多く、公開は適当ではないとの結論に至った。その結果、「海の気象」は、国立国会図書館内での閲覧との制限となっている。

なお、「海の気象」の掲載記事の利活用に資するべく第60巻2号、3号において、総目録を掲載した。

（３）「瀬戸内海の気象と海象」

「瀬戸内海の気象と海象」についても、2013年1月の刊行から1年以上が経過したことから、両機関誌同様、知的財産の保持のため、学会ホームページにおいて掲示、公開した。

5．編集委員会

（１）「海と空」

「海と空」の発行前に開催（メールによる書面開催を含む）し、掲載内容等について検討・承認した。また論文受付時には、査読者を推薦・依頼し、査読を引き受けていただいた。

九州・沖縄地区合同シンポジウムでの発表をもとにした投稿について、シンポジウム「対馬海峡」特集号への掲載を、承認した。

（２）「海の気象」

前記 4 .の国会図書館において電子化された「海の気象」掲載の記事の一般公開申請についての検討を、2014年4月9日、7月30日に書面により開催した。

- 2 2014年度 決算報告

2014年4月1日～2015年3月31日

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
収入の部				
1. 前年度繰越金	2,005,050	2,005,050		
2. 会費	2,152,500	1,873,500	279,000	
		145,500		過年度分会費分
		1,728,000		当年度分会費分
3. 機関紙販売収入		222,000		
		15,000		過年度分会費分
		207,000		当年度分会費分
4. 広告料収入	60,000	60,000	0	
		60,000		海の気象広告料
5. 雑収入	20,000	130,111	110,111	
		9,750		バックナンバー販売
		40,500		瀬戸内海の気象と海象
		1,223		寄付金
		182		受取利息
		3,456		許諾抄録料
		75,000		掲載カラー印刷
当期収入合計(A)	4,237,550	4,290,661	53,111	
支出の部				
1. 管理・運営費	1,754,829	1,829,427	74,598	
運営費	978,129	970,746	7,383	
	978,129	970,746		事務局業務
会議費	75,000	63,920	11,080	
	75,000	63,920		総会・理事会等
旅費・交通費	513,000	596,480	83,480	
	3,000	2,720		会計監査
	500,000	534,480		理事会
	10,000	59,280		その他(船舶懇談会)
通信費	93,700	144,175	50,475	
	53,700	122,503		郵便料・ホームページ運用
		3,232		電子メール料
		18,440		発送代
	40,000			その他
事務費	95,000	54,106	40,894	
		52,115		消耗品、雑費
		1,991		手数料
2. 事業費	1,715,000	1,588,984	126,016	
行事費	225,000	50,864	174,136	
	50,000	0		例会開催経費
	175,000	50,864		シンポジウム経費
編集費	40,000	20,700	19,300	
	20,000	20,700		海と空
	20,000	0		海の気象
印刷費	1,350,000	1,409,368	59,368	
	600,000	658,260		海と空
	750,000	751,108		海の気象
発送費	100,000	108,052	8,052	
	50,000	46,784		海と空
	50,000	61,268		海の気象
3. 次年度繰越金	767,721	872,250	104,529	
当期支出合計(B)	4,237,550	4,290,661	53,111	
当期収支差額(A)-(B)	0	0		

監 査 報 告

海洋気象学会会則第 15 条に基づき 2014 年度の収支決算状況を監査しました結果、いずれも適正・正確に処理されていたことを報告します。

2015 年 7 月 3 日

海洋気象学会

監事

林美穂

監事

坂田一記

議題

1 2015年度の運営について

1. 2015年度運営計画

(1) HP維持・更新

- ・機関誌「海と空」第90巻2号・3号に掲載の論文について、学会ホームページでの公開を行う。また、学会ホームページで公開の「海と空」第75巻4号に掲載している以降の総目次(第76巻～)について、学会ホームページで公開する。
- ・機関誌「海の気象」第60巻2号・3号に掲載した総目次について、学会ホームページで公開する。
- ・既に学会ホームページで公開している「瀬戸内海の気象と海象」が一括での掲載となっており、ダウンロードや閲覧に時間や手間がかかるとの意見があることから、章ごとに分けた掲載を行う。
- ・2014年度の臨時総会で決議された、「これまでの学会活動の経緯」について、とりまとめを行い、学会ホームページに掲載し公開する。
- ・国会図書館における機関誌の公開等についての周知及び説明を学会ホームページに掲載する。
- ・機関誌「海と空」・「海の気象」の最終号に掲載した、理事長による解散にあたっての説明記事を学会ホームページに掲載する。

(2) 国会図書館によるWeb収集の許諾

上記(1)に関連する、国立国会図書館によるインターネット上の情報の収集・保存・提供を行う「インターネット資料収集保存事業」に対し、学会ホームページのWeb収集を許諾し、「海と空」掲載論文、学会運営の経緯などが保存・提供されるようにする。

(3) 会員周知

2014年度の臨時総会の決議により、2015年度は総会を開催しないことから、本理事会の審議、承認を経た2014年度の事業報告・決算報告・監査報告及び2015年度の運営計画・予算案について、学会ホームページで周知する。それに加えて、今後の会員向けの周知は全てホームページで行う旨を、郵便(ハガキ)により会員に連絡する。

なお、2015年度末の活動終了・解散についての周知は、別途郵送により行う。

(4) 業務委託

2014年度の臨時総会において財政見通しを厳しく見積もることを指摘された。これを受けて、印刷経費の減額等支出を抑え、また過年度分会費の回収に努めた結果、見込みを上回る額の繰越を計上することができた。このことから、問い合わせ等の窓口業務や会計業務、会員への連絡・周知・発送、学会ホームページの運営・管理など、煩雑で担当理事での対応が難しい事務局業務については、内容を縮小しつつも、引き続き(有)あゆみコーポレーションに業務委託する。

(5) 2016 年度以降の運営に向けた整理

2014 年度臨時総会において議決された運営方針に従って、解散以降の運営整理委員会による業務対応が行えるよう、委託業務の引き上げを含めて、体制移行にむけた準備を進める。

なお、学会所有物品についての整理もあわせて進める。

2 . 2015 年度予算案

(2015年4月1日から2016年3月31日)

(単価:円)

科 目	金 額	摘 要	
収入の部			
1 前年度繰越金	872,250		
2 会費	192,000	過年度未納分	192,000
3 広告料収入	0	海の気象広告料	0
4 雑収入	1,500	バックナンバー販売等	1,500
収入合計(A)	1,065,750		
支出の部			
1 管理・運営費	606,658		
運営費(事務局業務)	358,158	あゆみコーポレーション 事務局業務 (見積額) 想定されるHP更新作業含む	358,158
会議費	0	総会費・理事会費等	0
旅費・交通費	102,500	会計監査 理事会 編集委員会 その他(解散に係る手続き等)	2,500 0 0 100,000
通信費	116,000	郵便料 ホームページ運用 輸送費 その他	47,000 29,000 10,000 30,000
事務費	30,000	消耗品、雑費ほか	30,000
2 事業費	0		
行事費	0	例会開催経費 シンポジウム経費(各地区補助含む)	0 0
機関誌刊行経費	0	海と空 海の気象	0 0
3 予備費	0		
4 次年度繰越	459,092		
支出合計(B)	1,065,750		
収支差額	0		

- 2 2016 年度以降の運営について

2015 年度臨時総会において、基本方針等が以下のとおり議決されており、方針に従い運営を行う。

- ・ 2016 年度から 2 年間に業務の整理を行う。
- ・ 2016 年度以降の業務対応は、5 名程度の委員からなる運営整理委員会により行う。
なお、委員長は理事長があたり、委員は理事を中心に委員長が選任する。
- ・ 活動終了の周知、論文の電子公開（国会図書館によるインターネット資料収集保存への対応を兼ねる）のため、学会ホームページを 2 年間維持する。
- ・ 繰越金で賄える最低限の規模にとどめるが、欠損が生ずる見込みとなった時点で活動を打ち切る。一方、2017 年度末において学会資産が残った場合は公的団体に寄付する。